中しず	上れ	五たたた	五は	中か	上かた。	工	老	
O t	から	○ き		た り	O W	五	匹	乾
中方	上 上 れ	五。あっ	五ずず	中っ	上き	六	上	乾杯
O 0	中《			∀	中な	上		
工を	上ら	上た	五き	工ぬ	上に		上	
						六	中	
エく	中た	中あ	五と	工せ	中お	五.	上	
五つ	尺	0	六に	五い	尺 ^も	上	老	
ナがぞ	工の	工の	工は	六ゆん	工い	尺〇	乙	
Ž					○	五.	合	
六ったっ	尺だ	匹	工よ	六の	尺よ	工	四	
	工る		ろ こ		工せ		合	
六う	老う	合	工で	六	老て		四	
					O		中	
六ふ			六 か た	六と			工	本調子
七る			七を	七に			中	1/3

五 六 上 〇 六 五 上 〇 五 工	た き みに し あ わせ あ れ	四 上 〇 上 中 上 老 乙 合 四	るかながいみちのりを	五六〇六〇七六五工五	きなおおきなぶたいに	四 上 〇 中 上 老 乙 合 四	んぱいいまきみはじ、	五 〇 五 〇 中 〇 工 〇	のなかにいますか	五 〇 五 〇 五 六 工	さとの とも は いま でも き	乾杯
五元.	あ	乙合	1)	五. 工.	\\	乙合	は	O T.	す	六工	まで	本調子 2/3

肩時語か をにりた たはつい た傷く絆 きつせに あきぬ思 青い た時春を あにのよ のは日せ 日喜々て び

つ

心ふ沈あ のるむれ 中さ夕か にと日ら いのをど ま友いれ もえた のろた うの だろう

すはくく か今つら で数い 君たつ 信風振明 じにり日 た吹返の 愛から光 にれずを 背てに身

をも

向

体

そに

け雨のあ

るにまび

な打まて

たゆ

れけ

てば もよ

11

涙大今キのきこャ 言なう 葉喜しド でびてル 歌と ラ 目イ 11 た少をト いし細の のめ中 さての みる二 し 人 z を を

君遥大乾

にかき杯

せい大今

あ道き君

れのなは

歩 立

きち

始

め た

り舞人

を台生

にの

幸長な

君遥大乾※ にかき杯 幸長な せい大今 あ道き君 れのなは り舞人 を台生 にの 歩 立 きち 始 め

た

※ 繰 l) 返